

1. PCプロジェクタ使用に関して

今季講演会では、ノートパソコンと液晶プロジェクタを全ての講演会場に設置し、PCプロジェクタ講演を実施します(試行)。これまでどおり、全ての講演会場にOHPも設置しますが、PCプロジェクタを用いたプレゼンテーションの実施にご協力ください。

<PCプロジェクタ利用における注意事項>

(1) 会場備え付けのノートパソコンを使用する場合

1-1) 動作環境

- ・OSはWindows XPです。
- ・プレゼンテーションソフトはMicrosoft Power Point (PPT) 2003です。
- ・パソコンはUSB 2.0ポートを備えています。

1-2) 発表用ファイル

- ・講演者は、USBメモリでPPTファイルを会場に持参し、発表することができます。
- ・PPTファイルにファイル名を付けてください。ファイル名は、半角英数字の講演番号と発表者の姓(漢字使用)をアンダースコア(アンダーバー)で結んで表記してください。

【ファイル名の例：29aA11_応物.ppt】

- ・セッション開始前に、投影のチェックをされることをお勧めします。
- ・USBメモリのデータをノートパソコンのデスクトップにコピーして発表されてもかまいません。この場合、セッション終了後にアルバイタがノートパソコンにコピーされたファイルを開覧できない状態に消去します。
- ・ノートパソコンへのコピー・投影のチェックはセキュリティ上、座長あるいは会場担当のアルバイタ立ち会いで行ってください(コピーは原則アルバイタが行います)。アルバイタは、休憩時間には常駐しますが、昼休みは午後の講演時間の20分前まではいない場合がありますのでご協力願います。

右記のポスターセッションの分科では、それぞれ別会場にて5分(13.4 III-V窒化物結晶は4分)の口頭講演の場を設けることにしました。このショートプレゼンテーションは発表者には多少の負担となりますが、ポスターセッションの始まる前に行われますので、発表者の側においては発表の対象者が広がることになり、また聴講者においても、その全体の概要を予め知るうえで助けになるものと思われ

ます。このショートプレゼンテーションは右記のとおり行なわれ、引き続き同日にそれぞれのポスターセッションが行われます。これに当って

る講演者は各自の講演日時を必ず確認され、登壇時間に遅れることがないようにご協力をお願いします。

なお、この講演では討論は行われません。発表者の講演時間は厳守となります。5分あるいは4分の持ち時間終了のベルが鳴った時はた

・ノートパソコンのハードディスクにデータが残ることを気になさる方は、USBメモリを直接アクセスして、投影を行ってください。

(2) ご自身が持参したノートパソコンを使用する場合

- ・講演者が持参されたノートパソコンを使って、発表することができます。
- ・この場合、ご自身のノートパソコンに接続ケーブルを接続し直してください。2分岐コネクタは用意しておりません。
- ・接続に要する時間は、講演時間に含まれます。

2. 講演時間について

各会場の講演がプログラムどおり進行し、聴きたい講演を予定の時刻に行けば聴くことができるようになっていくことが望ましいわけですが、この要請をある程度満たすためにつぎの方法により講演時間などを調整することとしました。

- 原著発表の講演時間は10分とする。
- 題目の討論時間は5分とする。
- 座長は休憩時間開始時刻ならびに午前、午後の講演終了時刻までに定められたプログラムを終了するように時間を調整する。
- 講演開始、昼食時刻などは講演分科日程表・本文のとおりとする。(午前の座長のみ前半、後半を通じ一人の方にお問い合わせにしています。)シンポジウム講演、受賞記念講演については一律に規定しがたいのでプログラムに定められたとおり実施する。

3. 講演時間の合図について

第1鈴：講演予定時間終了の5分前

第2鈴：講演予定時間終了のとき

第3鈴が鳴ったときただちに講演を中止していただきます。

4. 講演開始時間・昼食時間について

午前・午後の講演開始時間は、会場により異なりますので十分ご注意ください。

(講演分科日程表・本文でご確認ください)

5. ショートプレゼンテーション (5分講演) (13.4 III-V窒化物結晶は4分)

中分類分科名	月 日	講演番号	ショート	ポスターセッション
1.3 反応性プラズマの診断と計測	3/29(火)	29a- H- 1~30	9:15~12:00	13:00~15:00
	3/29(火)	29p- ZF- 1~19	13:00~14:35	15:30~17:30
3.4 計測光学	3/30(水)	30p- ZF- 1~19	13:00~14:35	15:30~17:30
	3/31(木)	31p- ZF- 1~21	13:00~14:45	15:30~17:30
	3/29(火)	29a- ZF- 1~18	10:30~12:00	13:00~15:00
4.4 超高速・高強度レーザー	3/30(水)	30a- ZF- 1~16	10:30~11:50	13:00~15:00
	3/31(木)	31a- ZF- 1~16	10:30~11:50	13:00~15:00
5.2 光検出	3/31(木)	31p- D- 1~5	12:20~12:45	15:30~17:30
5.5 光ファイバー	3/31(木)	31p- D- 6~29	13:00~15:00	15:30~17:30
7.7 微小電子源	3/30(水)	30p- V- 1~20	13:00~14:40	15:30~17:30
	3/31(木)	31p- V- 1~10	13:00~13:50	15:30~17:30
9.4 臨海電流、超伝導パワー応用	3/30(水)	30p- ZA- 1~23	13:00~14:55	15:30~17:30
	3/29(火)	29p- D- 2~24	13:05~15:00	15:30~17:30
10.3 電子機能材料・デバイス	3/30(水)	30p- D- 1~24	13:00~15:00	15:30~17:30
	3/29(火)	29p- V- 2~23	13:15~15:05	15:30~17:30
12.2 超薄膜・量子ナノ構造	3/30(水)	30a- V- 1~33	9:00~12:00	13:00~15:00
	3/31(木)	31a- V- 1~32	9:00~11:55	13:00~15:00
	3/29(火)	29a- N- 1~42	9:00~12:00	13:00~15:00
13.4 III-V窒化物結晶(4分)	3/30(水)	30a- L- 1~42	9:00~12:00	13:00~15:00
	3/31(木)	31a- L- 1~42	9:00~12:00	13:00~15:00

6.1 強誘電体薄膜, 11.6 Siデバイス/集積化技術, 15.2 教育のポスターセッションではショートプレゼンテーションは行われません。

ショートプレゼンテーションでもPCプロジェクタによる講演を行います。該会場の座長は講演が定められた時間内に終了するようご協力をお願いします。

ただちに講演を中止してください。時間を有効に使いたいと思いますので、発表者は前の講演が終了すると同時にただちに登壇できるよう備えていただきたいと思

■ ポスターセッションのご案内

ポスターセッションは右記分科において実施します。

ポスターセッションは研究成果をポスター(図表, 写真を含む)の形にまとめて, これを指定されたパネルに展示することによって行われるセッションです。この方式による発表では, 発表者と参加者との実質的な深い議論が期待でき, 参加者は聞きたい講演のみに集中して聞き歩きできる利点をもっていますので, 研究者相互の理解には一層, 助けになるものと思われまます。

展示方法, 発表要領は次のとおりです。

大分類分科名	中分類分科名
1. 放射線・プラズマエレクトロニクス	1.3 反応性プラズマの診断と計測
3. 光	3.4 計測光学
4. 量子エレクトロニクス	4.4 超高速・高強度レーザー
5. 光エレクトロニクス	5.2 光検出
	5.5 光ファイバー
6. 薄膜・表面	6.1 強誘電体薄膜
7. ビーム応用	7.7 微小電子源
9. 超伝導	9.4 臨海電流, 超伝導パワー応用
10. 有機分子・バイオエレクトロニクス	10.3 電子機能材料・デバイス
11. 半導体 A (シリコン)	11.6 Si デバイス/集積化技術
12. 半導体 B (探索的材料・物性・デバイス)	12.2 超薄膜・量子ナノ構造
13. 結晶工学	13.4 III-V 窒化物結晶※
15. 応用物理一般	15.2 教育

ご注意: ポスター講演会場は第一体育館と総合体育館(隣接)に分かれます。入り口は1ヶ所ですので, ポスター講演会場の受付にてご確認ください。
※: 全てがポスターセッションではありません。ご注意ください。

1 展示方法

- イ) 備え付けのパネル(1講演につき, たて120cm, よこ180cmのパネル)が用意されています。あらかじめ講演番号, 講演題目, 所属, 氏名を記入した用紙(たて15cm, よこ85cm)を各自が用意し, これをパネル上部に取り付けてください。
- ロ) 次にパネルに, 各自が用意したポスター, 図表, 写真などを, 例えば研究目的, 研究方法, 研究成果といった順に適宜レイアウトして掲示してください。
- ハ) ポスターの大きさ, 形式は問いませんが, できるだけ見やすく, 大きく書いてください。その際ポスターがパネルにうまく収まるように, あらかじめポスターの割り付けを検討しておくとう便利です。
- ニ) すべての掲示は本部で用意したピンで行ってください。糊の使用はご遠慮ください。

2 発表要領

- イ) 展示持ち時間 120分(準備 20分, 撤収 10分)

	午前のセッション		午後のセッション	
準備	9:10~9:30	12:40~13:00	15:10~15:30	
説明・討論	9:30~11:30	13:00~15:00	15:30~17:30	
撤収	11:30~11:40	15:00~15:10	17:30~17:40	

- ロ) 展示時間のうち, 講演番号の順番が奇数の方は前半の1時間, 偶数の方は後半の1時間はその場を離れないようにして説明, 討論を行ってください。コアタイム(拘束時間)以外の時間についても, できる限りその場において, 討論を行えるよう努めてください。連名者があって二人以上で出席できる場合は, だれか一人は常にその場において説明・討論をしてください。
- ハ) 展示持ち時間が終了したら, 直ちに講演者各自でポスターをとりはずし, 持ち帰ってください。

■ 講演番号について

(例)

1a-A- /III
1
2
▲3
△4

→この講演番号は1a-A-1 /IIIです。この講演番号の意味は下記の通りです。

→▲3の▲印は英語による発表です。

→△4の△印は講演奨励賞申請の発表です。

1 ⋮ 講演日	a ⋮ 午前 (午後 はp)	A ⋮ 会場名	1 ⋮ 順番	/III ⋮ 予稿集分冊
---------------	----------------------------	---------------	--------------	--------------------

会場名がP1, P2, P3, …… P6とあるのはポスターセッションのみ。(ポスターセッションの場合, ショート講演が有る場合と無い場合があります。21頁でご確認ください)

会場の呼称 A, B, C, D, ……ZR, YA, YB, YC, YD, ……YZ